

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	物理基礎		
教科	理科	単位数2単位	学年・コース・組
使用教科書	改訂版 新編 物理基礎 (数研出版)		
副教材等	改定 プロGRESS 物理基礎 (第一学習社)		

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 物理的な事物・現象に対する探求心を高め、観察や推察などを行い、物理学的に探求する能力と態度を
 ② 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	運動とエネルギー 運動の表し方		10月	熱 熱とエネルギー	二学期中間考査
5月	運動の法則	一学期中間考査	11月	波 波の性質 音	
6月	仕事と力学的エネルギー		12月		二学期期末考査
7月		一学期期末考査	1月	電気 物質と電気抵抗 磁場と交流	
8月			2月	物理学と社会 エネルギーの利用 物理学が拓く世界	
9月			3月		三学期期末考査

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 関心・意欲・態度 ② 知識・理解

このため、評価は、具体的には次のものを対象とし

- ①-a 授業への取り組み ①-b ノートの記載内容・方法
 ②-a 教科書・問題集の問題 ②-b 定期考査

1年間の評定は、一学期・二学期・三学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	化学基礎				
教科	理科	単位数	2	学年・コース・組	高1全クラス
使用教科書	高等学校 改訂 化学基礎 (第一学習社)				
副教材等	新インプレス 化学基礎ノート (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 物質とその変化に興味を持ち、化学的に探求する能力と態度を身につける。
- ② 化学の基本的な概念と原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
- ③ 化学的な事物・現象についての観察や実験を通じ、まとめる力と表現力を身につける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	純物質と混合物 物質とその成分 物質の三態と熱運動	1学期中間考査	10月	化学反応式と物質量	2学期中間考査
5月	原子とその構造 イオン 元素の周期律		11月	酸と塩基 水の電離と水溶液のpH 中和反応 塩	
6月	イオン結合とイオン結合の物質 分子と共有結合 分子の極性と電気陰性度 共有結合でできた物質 金属結合と金属	1学期期末考査	12月	2学期期末考査	
7月			1月		酸化と還元 酸化・還元と酸化数 酸化剤・還元剤
8月			2月	金属のイオン化傾向 酸化還元反応と日常生活	
9月	原子量・分子量・式量 物質量		3月		3学期期末考査

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点のA, B, Cの組合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

・定期考査 ・小テスト ・実験・観察レポート ・提出物 ・発表 ・グループワーク 等

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	生物基礎				
教科	理科	単位数	2	学年・コース・組	高1全クラス
使用教科書	生物基礎（数研出版）				
副教材等	新課程 リードLightノート生物基礎（数研出版）				

1.学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をたかめる。
- ②目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を培う。
- ③生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2.学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 生物の特徴 生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝	一学期中間考査	10月	第3章 ヒトの体内環境の維持	二学期中間考査
5月	光合成と呼吸 第2章 遺伝子とそのはたらき		11月	体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	
6月	遺伝情報とDNA 遺伝情報の複製と分配		12月		二学期期末考査
7月	遺伝情報の発現	1月	第4章 生物の多様性と生態系 植生と遷移 植生の分布とバイオーム		
8月			2月	生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	
9月	第3章 ヒトの体内環境の維持 体内での情報伝達と調節		3月		三学期期末考査

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3.評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
 上記の3観点のA, B, Cの組合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

・定期考査 ・小テスト ・実験・観察レポート ・提出物 ・発表 ・グループワーク 等

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します